

認定施設認定委員会

委員長：櫻庭 実

委員：秋元 正宇、朝村 真一、上村 哲司、漆館 聡志、垣淵 正男
梶川 明義、木村 中、島田 賢一、土佐 泰祥、中川 雅裕
野村 正、橋本 一郎、松田 健、山本 直人、力丸 英明

開催年月日：①2021年5月9日：2021年度専門研修プログラム審査会

②2021年8月6日、9月10日、9月29日、10月4日：メール審議

③2021年10月15日：シーリング対象都道府県に関するメール委員会

主な議題：1. 研修プログラムの新規・更新申請審査

2. 専攻医募集に関する学会内での対応

3. シーリング対象都道府県における定員数調整方式の検討

4. 旧制度の認定施設および教育関連施設の廃止告知

活動の概要：

1. 2022年開始の新専門医制度における研修プログラムおよび基幹施設・連携施設の構成について、学会内の一次審査を上記日程で行った。

既に2021年度のプログラムを提出していた97施設に加え、新規申請の8施設を加え105施設のプログラムを承認または条件付きで承認した。

2. 専攻医募集に関して

次年度の研修プログラムの専攻医に関する定員に関しての報告・審議が行われた。専門医機構より2月12日開催の会議にて専攻医のシーリングについては本年度と同様の対応をとることを決定したことが報告された。

シーリング対象以外の都道府県におけるプログラム施設から定員数の増加、連携施設の追加の申請があり、メール審議の上承認した。

東京・大阪については定員の枠を変えず、本年同様連携枠についての希望調査を行うことを決定した。

3. シーリング対象都道府県における定員数調整の検討

関西地区の基幹プログラム5施設からの要望に基づき、定員数調整の方法について検討した。基本的には充足率計算を用いて委員会提案数を決定するが、定数削減の必要がある場合は、シーリング対象都道府県では原則として、医育機関での定員確保を優先することを決定し、委員会内規に明記した。

4. 認定施設、教育関連施設年次報告書による審査

2022年度からは旧制度での認定施設、教育関連施設は廃止となるため、書類提出不要の会告を掲載し、審査は行わなかった